たけとよ 代表質問	議会事務局 処理欄	令和８年１１月４日１１時２４分受付
		質問順位　第５番

武豊町議会議長　石川　よしはる　殿

武豊町議会議員　福本　貴久

一般質問の通告について

令和８年第４回武豊町議会定例会において、次のように質問したいので通告します。

質問事項	質問の要旨(具体的にご記入願います)
１．令和９年度予算編成方針について	【趣旨説明】 令和 8 年 9 月 24 日、町長は部課長に対し、令和 9 年度予算編成方針を示した。同方針では、令和 7 年度決算において町民税は増加しているものの、物価高騰に伴う物件費等の増加、人件費の上昇、公共施設の老朽化による維持補修費の増加、社会保障関係経費の増加などにより、今後も厳しい財政状況が続くと見込んでいる。 また、従来の「現状維持」の考え方から脱却し、徹底した「ビルド＆スクラップ」を進めるとともに、必要な財源を確保していく必要があるとしている。 一方、令和 7 年度決算では、財政調整基金残高は約 46.7 億円、標準財政規模に対する割合は約 39%、経常収支比率は 82.5%となっている。 そこで、「厳しい財政状況」とする認識の根拠、「ビルド＆スクラップ」の具体的な基準、住民生活への影響、さらに今後の財源確保策について、町民に分かりやすく示す必要があると考え、以下質問する。
	【質問事項】 ①「厳しい財政状況」の認識と中期的な財政見通しについて １）予算編成方針では「厳しい財政状況」としているが、令和 7 年度決算における財政調整基金残高は約 46.7 億円、標準財政規模に対する割合は約 39%、経常収支比率は 82.5%である。町長は、現在の財政状況を「厳しい」と判断した具体的な指標と、その判断に用いた将来推計について伺う。 ２）令和 7 年度の固定資産税は、償却資産の減価償却などにより、前年度比約 4.09 億円、率にして 5.8%減少している。令和 9 年度から令和 11 年度までの町税収入の見通しと、令和 11 年度に約 17 億円の残高が見込まれる庁舎建設基金を含めた、庁舎建設の財源計画について伺う。 ３）財政調整基金残高が一定の水準にある中で、今後、同基金をどのような基準と考え方に基づいて活用していくのか伺う。 ４）今後、厳しい財政状況が見込まれる中で、予算編成方針に掲げる「積極的な財源確保」の具体策と、今後の目標について伺う。 ②「ビルド＆スクラップ」の基準と住民生活への影響について １）「徹底したビルド＆スクラップ」とは、具体的にどのような事業を対象とし、どのような評価基準に基づいて、誰が判断するのか伺う。併せて、令和 9 年度予算において、削減額や対象事業数などの目標を設定するのか伺う。 ２）「国・県補助金が廃止・削減された場合は、原則として事業を廃止・削減する」としているが、福祉、教育、子育てなど住民生活に直結する事業や、法令上実施が義務付けられている事業についても、一律に適用するのか伺う。併せて、適用除外または例外とする基準について伺う。 ③新規重点施策と公共施設の老朽化対策について １）高齢者等の移動支援、発酵食を軸とした観光振興及び公園遊具の充実について、それぞれの事業費及び財源を伺う。

	２）予算編成方針では、維持補修費の増加要因として公共施設の老朽化を挙げている。一方で、新規重点施策における老朽化対策の位置付けが明らかにされていない。公共施設の長寿命化、統廃合及び複合化について、今後の基本的な方針と、庁舎建設を含めた施設整備の優先順位について伺う。 ④減税施策について １）減税の目的、減税率、減税の開始時期を伺う。 ２）減税の対象にならない約２万人の町民税非課税者に対して、どのような支援または配慮を行うのか伺う。 ３）減税は何年実施する予定か伺う。 ４）他の自治体において、同様の減税施策が１年で終了した事例を、どのように分析しているのか。また、本町で実施する場合、その継続可能性をどのように検証しているのか伺う。